

1. 教育目標と目指す学校

教育目標と目指す生徒像

確かな知性に豊かな心をもつとともに、たくましい体を培い、主体的に生きることのできる人間を育てる。

- 1 自ら学び、心身ともに健康な生徒
- 2 自他の生命を尊重する生徒
- 3 自己責任をそなえ、すすんで社会貢献する生徒

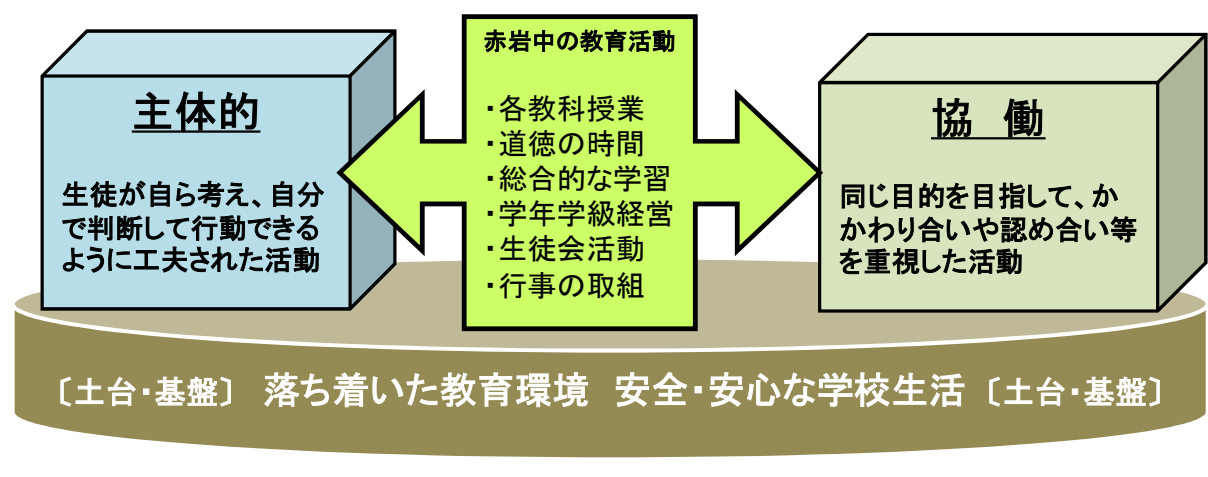
目指す赤羽岩淵中学校像

- 1 正義がみなぎり、心の落ち着きと潤いある学校環境が整備された学校
- 2 思いやりの心と、互いに認め合い、励まし合い、高め合う人間関係がある学校
- 3 生徒が主体的に深く学び、生徒が進んで表現する授業が展開される学校
- 4 明るく元気に、何事にも全力でみんなで一致団結・協力して取り組む学校

令和7年度 教育活動の方針

教育活動スローガン

「大好きです！笑顔とあいさつあふれる赤岩中」



【社会の変化への対応】
【赤岩中の現状と課題】
【北区教育ビジョン2024】
【北区子どもの権利と幸せに関する条例】等

【学習指導要領の趣旨】
【都・北区の教育目標】
【保護者や地域の願い】

2. 今年度の取組目標と方策

<目標1>すべての教育活動の土台となる「落ち着いた教育環境」を築く(重点目標)

1 「心の教育」の充実

- ・道徳の時間の計画的継続的な実施と適正な評価 ・考え議論する道徳の授業の実践
- ・特別支援学級(7組)と通常学級との連携交流 ・特別支援学校との交流と障害者理解の推進
- ・ボランティア活動や社会参加活動、職場体験などの体験活動の充実

2 「集団指導」の充実

- ・目指すべき集団
 - ①安心して生活できる②個を発揮できる③自己決定できる④自分の役割がある⑤達成感・成就感がある⑥存在感が実感できる⑦好ましい人間関係がある⑧自己実現の喜びを味わえる
- ・リーダーの育成と自治意識を高める指導の充実
- ・どの先生でも同じ指導ができる集団
- ・生活アンケートやWeb-QUの活用と2者面談等の充実

3 共通方針で繰り返し指して「習慣化」

- ・あいさつの習慣化 ①教員から率先してあいさつ ②生徒会や委員会のあいさつ運動の充実 等
- ・話を聞く姿勢の習慣化 ①授業規律から習慣化 ②聴くことを重視した言語活動の充実 等
- ・時間を守る習慣化 ・身だしなみの習慣化 ・授業規律の習慣化 ・環境美化の習慣化

<目標2> 主体的に学び、進んで表現する生徒の育成

1 授業等で生徒に求めること

- ①疑問を持つ ②調べる…根拠を探す ③考える…人と話し合う ④表現する…わかるように説明する

2 1単位時間でのまとまりのある授業実践

「ねらいの提示(課題把握)」→「展開(教師の指導、個人思考、集団思考、深め合い等)」→「振り返り」

3 きたコンを中心としたICTの積極的活用

- ①「興味関心を高めるため ②教え合い学び合う「協働学習」の充実を図るため
- ③能力や特性に応じた「個別学習」のため ④わかりやすく見通しの持てる授業のため

4 北区学校ファミリーの活用

小中高の学びのつながりや学びの連続性を意識・活用した授業実践

5 家庭学習の習慣化

意図的計画的な宿題の実施などを通して、授業と家庭学習を組み合わせた学習活動を実践する

6 学習調査(北区や全国)や到達度テスト(実力テスト)等の活用

結果分析を通して生徒の学習状況を把握し、それに基づいた個別指導や授業改善等の対策を実践する

<目標3>開かれた学校と教職員が働きがいのある環境を築く

1 教育活動に関する積極的な情報提供

- ・授業参観や保護者会の充実 ・ホームページ、学校・学年だより等の充実
- ・進路に関する情報提供の工夫 ・テトルやまなびポケット等の活用

2 家庭・地域との連携の充実

- ・教職員の地域行事等への積極的参加 ・PTA活動の理解とPTAとの連携 ・学校評議員との連携

3 ライフワークバランスのとれた職場環境の構築

- ・会議や校務作業の効率化、簡素化 ・勤務時間、在校時間の適正化と管理
- ・定時退勤日の徹底 ・長期休業中等での年休取得を促進 ・衛生委員会の有効活用